

V 公共交通の確保

1 公共交通の確保

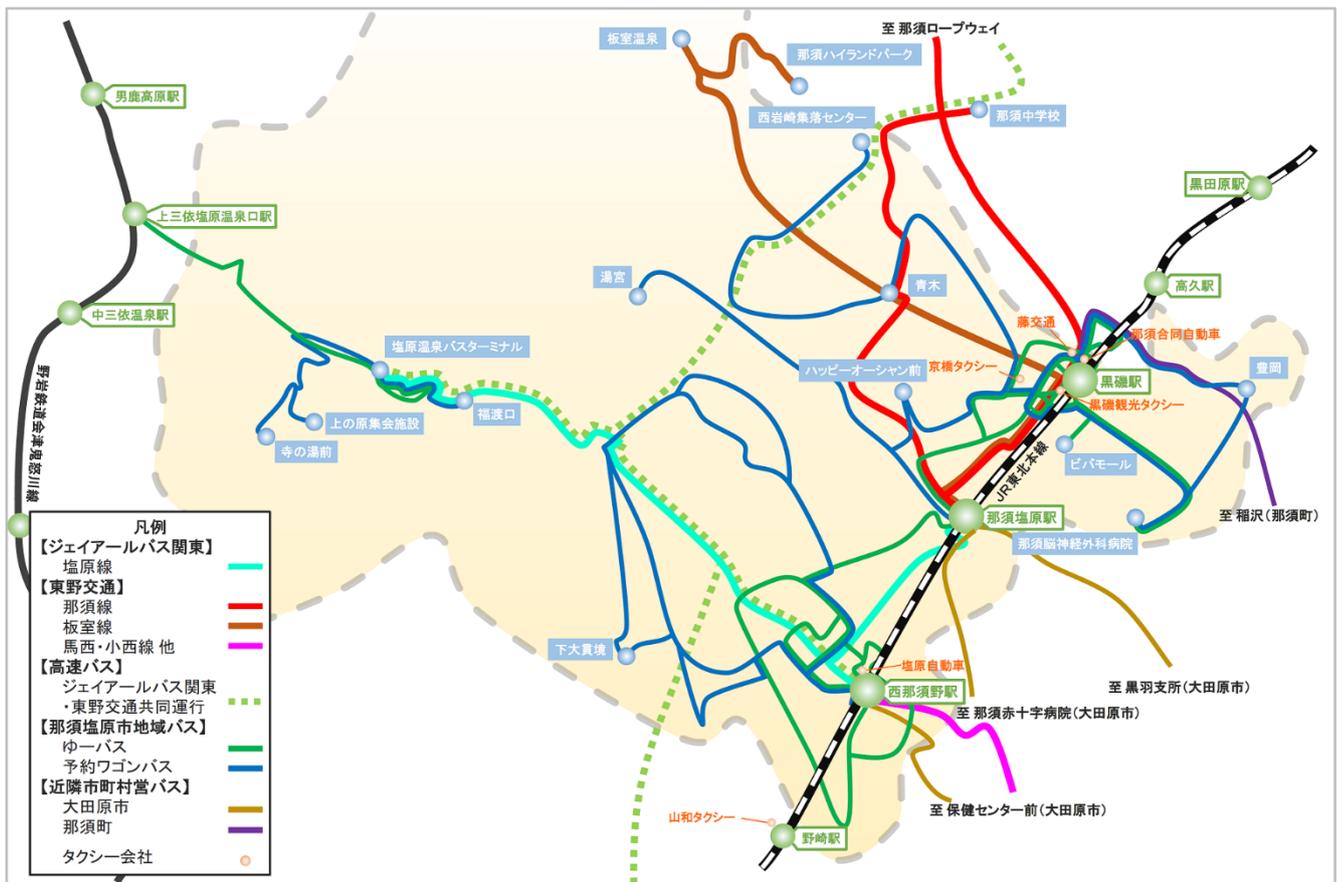
(1) 公共交通網の現状

本市のバス路線網は、「民間路線バス」が8路線、「公営バス」が20路線運行しており、そのうち本市が運営する地域バスは「ゆーバス」が8路線、利用時に予約が必要な「予約ワゴンバス」が7路線となっています。

本市にある鉄道駅は「那須塩原駅」、「西那須野駅」、「黒磯駅」の3駅となっており、特に那須塩原駅は新幹線の停車駅であることから、那須塩原市のみではなく、那須地域全体の玄関口としての役割を担っています。

本市に所在するタクシー事業者は6社（総車両台数：約140台、乗務員の平均年齢：約60歳）となっています。

▼公共交通網



資料:那須塩原市地域公共交通網形成計画(平成 29 年度策定)

(2) 公共交通の推進方針

①基本的な考え方

本市の立地適正化計画では、集約型都市構造の実現に向けて、日常生活に必要なサービスや行政サービスが住まいなどの身近に存在する「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を目指しています。コンパクトシティ施策を具体的に推進するため、本計画では都市機能誘導区域及び居住誘導区域等を設定していますが、一方でこれらの誘導区域をつなぐ持続可能な公共交通を確保することが必要です。そのため「那須塩原市地域公共交通網形成計画」と連携して、将来にわたり誰もが安全でスムーズに移動できる公共交通ネットワークの構築を推進します。

②本市の公共交通の課題

「那須塩原市地域公共交通網形成計画」に基づき、公共交通の課題について以下のとおり示します。

○公共交通の持続性の向上

- ・ゆーバス等のサービス圏を民間路線バスが運行するようにルートを工夫し、ゆーバス・予約ワゴンバスの運行を短縮・廃止することでコストを削減するとともに、民間路線バスの収支の改善を図る必要があります。
- ・一般タクシーとフィーダー交通との共存・共栄が課題となっています。

○生活交通に利用できる交通手段の確保

- ・運行本数の増加は運行経費の増加に直接つながるので安易に実施することはできませんが、移動ニーズに合わせた運行ダイヤ設定等により、通勤・通学・通院・買物等、日常の生活交通への対応が求められています。

○公共交通空白地域における移動制約者の外出手段の確保

- ・高齢化社会の進行や活力あるまちづくりなどに対応していくために、公共交通サービス圏域外の移動制約者を中心とした移動手段の確保が必要です。

○まちづくり（立地適正化計画等）への対応

- ・都市機能誘導区域及び居住誘導区域をつなぐ持続可能な公共交通ネットワークの形成に関する取組などについて、立地適正化計画と整合を図る必要があります。

○観光需要への対応

- ・現状では観光客の公共交通利用は少ないものの利用意向は高く、外国人観光客を含めた観光交通への対応が必要です。